

令和8年2月10日
文教経済常任委員協議会
経済部創業・人づくり推進課

令和7年度 青森市第三セクター経営評価シート(第三次評価)
職業訓練法人青森情報処理開発財団

評価項目	一次評価 (法人)	二次評価 (所管部局)	三次評価 (青森市第三セクター経営評価委員会)		評価結果※
			評価内容 (評価すべき取組・助言・意見など)		
目的適合性	概ね良好	概ね良好	◆地域で唯一のICT技術が学べる教育機関であり、地元企業への就職率が高いこと、高校訪問やオープンキャンパスの開催のほか、ウェブサイトやYouTubeを活用してPRを行い、幅広い世代を視野に入れながら入学者を募集し、定員充足数を確保していることは評価できる。		概ね良好
効率性・効果性	概ね良好	概ね良好	◆高校や企業の訪問により地域ニーズを把握し、カリキュラム等に反映していること、国家資格取得率や高い就職率が維持されていることは評価できる。 ◆効率性・効果性の判断基準となる各種財務比率も改善・向上しており、第三セクターとしての効率性・効果性に問題ないと判断している。 ◆令和6年度の定員充足率は、前年度比で9.1%減少していることから、定員充足率を維持するための積極的な広報活動の取組が期待される。		概ね良好
組織運営の健全性	概ね良好	概ね良好	◆組織運営を担保するための各種規程が整備されており、当該規程に基づく組織運営がなされていることから、組織運営の健全性については評価できる。 ◆組織運営の検証を図るために、職員からも情報を収集し、組織内部で情報共有を行う仕組みの構築に努めていることは評価できる。		概ね良好
財務の健全性	改善の余地あり	改善の余地あり	◆継続して経費削減に努めるとともに、学生募集施策に重点的に取り組んだ結果、2期連続（令和4年度、令和5年度）で黒字を達成したことは評価できる。 ◆令和5年度には、入学者数が目標又は計画値を下回ったことから、財政基盤の中心である学生募集に向けて、今後も地域に即した時代に適合したカリキュラムにより職業訓練を実施することを期待する。 ◆将来的に、財政支援が打ち切られた場合に備えて代替収入の確保策を法人内部で検討が必要が生じる可能性もあることから、資産運用に関する規程を設けておいた方が望ましいと考える。 ◆職員が貸与奨学金をより回収しやすくなるよう、法人として債権管理規程を整備し、規程に従い処理する体制が必要と考える。		改善の余地あり
透明性	概ね良好	概ね良好	◆市の第三セクターとして情報公開に関する規程を整備しており、また、当該法人に関する各種情報（事業報告や決算資料など）については、インターネットも活用して積極的に公表するなど、その透明性の確保に向けた取組は評価できる。		概ね良好
自立性	概ね良好	概ね良好	◆競争によらない市からの収入割合が低いこと、また、入学者の確保に向けた高校訪問やオープンキャンパスなどの取組は評価できる。 ◆経営の自立性を一層高めるという点からも、今後も入学者を確保し、授業料収入を増加させるなどの自主財源の確保に向けた取組の強化が不可欠である。		概ね良好

※評価結果：概ね良好>改善の余地あり>大いに改善を要する

【青森市第三セクター経営評価委員会による総括的な所見】
<p>◆ウェブサイトやYouTubeを活用してPRを行い、幅広い世代を視野に入れながら入学者を募集することで、定員充足数を確保していることは評価できる。</p> <p>◆財政基盤の中心である学生募集に向けて、積極的な広報活動や、地域に即した時代に適合したカリキュラムによる職業訓練を実施することで、入学者を確保し、授業料収入を増加させるなどの自主財源の確保に向けた取組の強化が不可欠であるとともに、法人運営に必要な資産運用規程や債権管理規程が整備されることを期待する。</p> <p>◆「改善の余地あり」と評価された項目については、速やかに改革・改善に取り組むとともに、「概ね良好」と評価された項目についても維持・向上に取り組み、更なる成長・発展に努めることを期待する。</p>